



城西大学 理学部化学科

# 危険物取扱者国家試験

化学科は在学中の実験実習はもちろんのこと、卒業後に「消防法」で定める危険物（薬品）を扱う仕事につく人がたくさんいます。化学科では、授業（※）のなかでも学生に危険物取扱者国家試験の受験を薦めています。



危険物取扱者には甲種と乙種といった種別があります。甲種を例にとると、化学を勉強している人が試験前にホンキで勉強しても、合格率は1/3程度。化学を学んでいる在学中こそ有利です。ぜひ取得しましょう。

※「物質取扱技術」の授業では…

化学系企業で働くときに求められる資格に「危険物取扱者」「毒物・劇物取扱者」「高圧ガス製造保安責任者」等があります。なかでも「危険物取扱者」は必ず必要な資格です。「危険物取扱者」は化学に関する科目を15単位以上取得することにより受験資格が得られるので、化学科で学ぶ学生は日常の授業だけでこれを充足できます。「物質取扱技術」は、これの受験のための具体的な勉強を指導する授業です。

授業の中で受験に必要な1) 危険物に関する法令、2) 危険物の性質、その火災予防・消化の方法、3) 物理学・化学についての勉強方法、並びに模擬試験の解答方法を中心に学びます。

## eco検定

環境問題は、環境と経済を両立させた「持続可能な社会」にとって大切な課題です。そのための「人づくり」のための資格がeco検定。eco検定は、化学の知識は必要なことは当然ですが、社会科学系の知識が問われる問題も多くて、化学科の学生にはソコが難関なのだとか。eco検定は商工会議所が主催している資格なので、就職の際のエントリーシートに取得状況記入欄がある会社も多く、学生にとっては、取得することによって環境保全に取り組んでいる企業への就職活動でアピール材料になります。

